



Admin UI を使用したデバイスのプロビジョニング

この章では、プライム ケーブル プロビジョニング Admin UI を使用してデバイスを設定する方法について説明します。さまざまなデバイスをプロビジョニングして、管理するデバイス メニューを使用します。次の操作を実行できます。

- 特定のデバイスまたはデバイスのグループを指定する共有条件を検索します。『[デバイスの検索](#)』を参照してください。
- RDU データベースのデバイスを追加、変更、削除します。次を参照してください。
 - [デバイス記録の追加](#)
 - [デバイスの削除](#)
- 設定、プロパティなど、デバイスのデータを表示します。『[デバイスの詳細情報の表示](#)』を参照してください。
- デバイス設定を再生成します。『[デバイス設定の再生成](#)』を参照してください。
- 特定のグループにデバイスを関連付けたり、関連付けを解除したりします。『[デバイスの関連付けおよび関連付け解除](#)』を参照してください。
- デバイスをリセットまたは再起動します。『[デバイスのリセット](#)』を参照してください。
- [デバイス管理 \(1 ページ\)](#)

デバイス管理

プライマリ ナビゲーション バーの **[Devices]** タブをクリックすると、**[Manage Devices]** ページが表示されます。**[Main Menu]** の **[Devices]** リンクをクリックして、**[Manage Devices]** ページに移動することができます。

デバイスの検索

プライム ケーブル プロビジョニングを使用して、いくつかの方法でデバイス情報を検索できます。

検索タイプを選択するには、[Manage Devices] ページから [Search Type] ドロップダウン リストをクリックします。以降の検索ページには、選択した検索タイプに固有の可能性がある画面コンポーネントを含みます。

[Manage Devices] ページでは個別ですが関連する領域を使用して、ネットワークのデバイスを管理できる検索結果を生成します。これらの領域は次の通りです。

- [Search Type] ドロップダウン リストで実行する検索タイプを定義します。
- 追加の値フィールドで選択した検索タイプが対象となります。これらのフィールドには、IP アドレス、MAC アドレスまたは MAC アドレスのワイルドカード、グループ名（グループタイプ）、所有者 ID を含みます。

実行可能な一部の検索は、検索機能を向上させるためワイルドカード文字 (*) を使用できます。表 1: デバイス管理でサポートされている検索 (2 ページ) で説明されているように、プライム ケーブル プロビジョニングは検索ごとに固有のワイルドカードを提供します。



(注) 数多くのデバイスをサポートするシステムでは、ワイルドカード検索 (*) の使用は推奨しません。このような検索では数千の結果を返し、広範なシステム リソースを使用するため、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。

表 1: デバイス管理でサポートされている検索

メニュー検索	検索タイプオプション
DUID 検索	IPv6 環境でデバイスの DHCP 固有 ID (DUID) を使用してを検索します。DUID の承認形式は、ネットワーク バイト順で表される 2 オクテット タイプ コードで、ID を構成するオクテット数に続きます。この検索条件を効果的に使用する方法についての詳細は、 デバイス ID 別のデバイスのトラブルシューティング を参照してください。

メニュー検索	検索タイプオプション
FQDN 検索	<p>DNSサーバによって割り当てられているデバイスに関連付けられている完全修飾ドメイン名（FQDN）を使用して、検索を行います。この検索は、デバイスのMACアドレスが不明なときに特に便利です。たとえば、www.myhost.example.com は完全修飾ドメイン名です。Myhost がホストを識別する場合、example はセカンドレベルドメインを識別し、.com はサードパーティ レベルドメインを特定します。</p> <p>FQDN IGW-1234.EXAMPLE.COM のデバイスを検索するには、次を試行できます。</p> <ul style="list-style-type: none">• *.example.com• *.com• *
IP アドレス検索	<p>現在 DHCP リース IP アドレスが指定されているネットワークで、すべてのデバイスを返すことで検索を行います。ワイルドカードはサポートされていません。完全な IP アドレスを入力する必要があります。</p> <p>たとえば、IP アドレス 10.10.10.10 のデバイスを検索するには、10.10.10.10 と入力する必要があります。</p>
MAC アドレス検索	<p>機器ベンダーを明確に識別する特定のベンダープレフィックスを持つ特定のモデム、またはすべてのデバイスの正確なMACアドレスを使用して検索を行います。ベンダー プレフィックスは、MAC アドレスの最初の 3 つのオクテットです。たとえば、MAC アドレス 1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff ではベンダープレフィックスは「aa:bb:cc」です。したがって、MAC アドレスの検索を実行する場合は、製造元とデバイス タイプを指定できます。この検索条件を効果的に使用する方法についての詳細は、デバイス ID 別のデバイスのトラブルシューティング を参照してください。</p>
グループ検索	<p>特定のグループまたはグループ タイプの一部であるデバイスを検索します。</p>

メニュー検索	検索タイプ オプション
所有者 ID 検索	<p>デバイスに関連付けられている所有者 ID を使用して検索します。たとえば、所有者 ID はサービス加入者のアカウント番号を特定できます。この検索機能は、ワイルドカード検索をサポートしていません。完全な所有者 ID を入力する必要があります。</p> <p>たとえば、所有者 ID 100000000000xxxxx を持つデバイスを検索するには、100000000000xxxxx を入力する必要があります。</p>
プロビジョニング グループ検索	デバイスが属するプロビジョニング グループを使用して検索します。
登録済みサービス クラス検索	デバイスがプロビジョニングされたサービス クラスを使用して検索します。
登録済み DHCP 条件検索	特定の DHCP 条件に属するデバイスを検索します。
関連するサービス クラス検索	登録および選択したサービス クラスの両方を使用して検索します。
関連する DHCP の条件検索	登録および選択したの両方の DHCP 条件を使用して検索します。
選択したサービス クラス検索	何らかの理由でデバイスの RDU で選択されたサービス クラスを使用した検索は、登録済みのサービス クラスを保持できません。
選択した DHCP 条件検索	何らかの理由でデバイスの RDU で選択された DHCP 条件を使用した検索は、登録済みの DHCP 条件を保持できません。



(注) 通常、「関連および選択されたサービス クラス」および「関連および選択された DHCP 条件」は同じです。そうでない場合、関連するサービス クラス/DHCP 条件に一致するように、選択されたサービス クラス/DHCP 条件を調査し、変更する必要があります。

[Manage Devices] ページの [Page Size] ドロップダウン リストにより、ページごとに表示される検索結果の数を制限できます。結果の表示数は 25、50、75 が選択できます。検索結果の数が選択した数字を超える場合、画面プロンプトがページの左下隅に表示されます。これらの制御により、1 ページを一度に先や前にスクロールするか、特定のページを選択できます。

クエリに対して最大1000個の結果が返され、1ページあたり最大75個の結果が表示されます。デフォルトの最大数を変更するには。

1. `BPR_HOME/rdm/conf/adminui.properties` ファイルで `/adminui/maxReturned` プロパティを変更します。
2. 管理者ユーザー インターフェイスのプライム ケーブル プロビジョニング Tomcat プロセスを再起動します。

```
# /etc/init.d/bprAgent restart adminui
```

デバイスの検索では、次の見出しまたはページに表示されるリンクの下に結果が表示されます。

- ID : 検索条件に一致するすべてのデバイスを特定します。各 ID には、デバイスを変更可能な別ページへのリンクが表示されます。
- Device Type : 使用可能なデバイス タイプを表示します。使用可能な選択内容は次のとおりです。
 - CableHome MAN-Data
 - CableHome MAN-WAN
 - DOCSIS モデム
 - コンピュータ
 - PacketCable マルチ メディア終端アダプタ (MTA)
 - セットトップ ボックス (STB)
 - eRouter
 - RPD
- ステータス : デバイスがプロビジョニングされるか示します。プロビジョニングされたデバイスは、アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) または管理者ユーザー インターフェイスを使用して登録されており、ネットワーク上で起動します。
- 詳細 : 選択したデバイスの使用可能なすべての詳細を表示します。詳細については、『[デバイスの詳細情報の表示](#)』を参照してください。

デバイスの詳細情報の表示

検索結果で特定されたデバイスの詳細を表示することができます。デバイスの詳細を表示するには、デバイスを選択し、**[Details]** をクリックします。



- (注) [View Device Details] ページに主に表示される情報は、選択したデバイス タイプによって異なります。表 2 : [View Device Details] ページ (6 ページ) に記載されているサンプル フィールドは、ほとんどの デバイスで通常表示される詳細を特定します。

表 2 : [View Device Details] ページ

フィールドまたはボタン	説明
デバイスの詳細	
デバイスのタイプ	デバイス タイプを特定します。例 : DOCSIS モデム。
MAC Address	デバイスの MAC アドレスを識別します。これはアクティブラインクであり、クリックすると、この MAC アドレスの適切な [Modify Device] ページが表示されます。
DUID	デバイスの DUID を識別します。これはアクティブラインクであり、クリックすると、この DUID アドレスの適切な [Modify Device] ページが表示されます。
FQDN	デバイスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を特定します。例 : IGW-1234.EXAMPLE.COM。
ホスト名	ホストを指定します。たとえば、上記の FQDN の説明では IGW 1234 はホスト名です。
Domain Name	ホストが存在する中でドメイン名を指定します。たとえば、上記の FQDN の説明では EXAMPLE.COM ドメイン名です。
オーナー ID (Owner ID)	MIB データベースの特定の SNMP MIB を特定する値であるオブジェクト ID を指定します。
Revision Number	処理する前に検証する OID リビジョン番号を特定します。
デバイスの背後	このデバイスの背後にあるデバイスを識別します。これはアクティブラインクであり、クリックすると、デバイス背後の適切な [Modify Device] ページが表示されます。詳細の表示アイコンを使用して、このデバイスの詳細をさらに表示できます。

フィールドまたはボタン	説明
グループのプロビジョニング	デバイスが事前割り当てまたは自動的に割り当てられているプロビジョニング グループを特定します。これはアクティブリンクであり、クリックすると [Provisioning Group Details] ページを表示します。
登録済み DHCP 条件	使用される DHCP 条件を識別します。デフォルトの DHCP 条件を除き、これはアクティブリンクであり、クリックすると、適切な [Modify DHCP Criteria] ページが表示されます。gデフォルトの DHCP 条件を選択する場合、[Systems Defaults] ページでデフォルトとして設定されている DHCP 条件が適用されます。
セキュリティ ドメイン	インスタンス レベル アクセス制御が有効になっている場合、エンティティ（デバイス、CoS、DHCP 条件）に割り当てられている RBAC ドメインを特定します。
Device Properties	このデバイスに設定可能で、このページに表示される以外のプロパティを特定します。このフィールドには、カスタム プロパティの表示が含まれています。
デバイス プロビジョニングの状態	デバイスがプロビジョニングされるかどうかを指定します。登録済みでネットワーク上で起動している場合のみ、デバイスがプロビジョニングされます。
デバイス登録の状態	デバイスが登録されているかを特定します。
Client Identifier	その DHCP メッセージ内のデバイスで使用されているクライアント ID を特定します。
クライアント要求ホスト名	クライアントがその DHCP メッセージで要求するホスト名を特定します。
登録済みサービス クラス	デバイスに割り当てられているサービス クラスを特定します。これはアクティブリンクであり、クリックすると、適切な [Modify Class of Service] ページが表示されます。 異なるサービス クラスが拡張子によってデバイスに選択されている場合、選択したサービス クラスに追加のフィールドが表示されます。

フィールドまたはボタン	説明
所有者 ID	デバイスを特定します。これは、ユーザー ID またはアカウント番号にできます。フィールドが空白でもかまいません。
検出されたプロパティ	デバイスの設定を生成すると、RDU デバイス 検出の拡張機能により返されるプロパティを特定します。
選択されたプロパティ	デバイスの設定を生成すると、検出されたデバイス タイプの RDU サービス レベルの選択 拡張機能により返されるプロパティを特定します。
必要なデバイスの背後	<i>DeviceDetailsKeys.IS_BEHIND_REQUIRED_DEVICE</i> プロパティが必要なケーブル モデムの確立に使用されており、拡張サービス レベルの選択によりこのデバイスが必要なケーブル モデムの背後で起動しないことを決定する場合、「false」を指定します。
必要なプロビジョニング グループ	<i>IPDeviceKeys.MUST_BE_IN_PROV_GROUP</i> プロパティが必要なプロビジョニング グループの確立に使用され、必須プロビジョニング グループを確立に使用されており、拡張サービス レベルの選択によりこのデバイスが必要なプロビジョニング グループで起動しないことを決定する場合、「false」を指定します。

フィールドまたはボタン	説明
選択したアクセス	<p>サービス レベルの選択拡張機能により、デバイスに付与されるアクセス権を特定します。</p> <ul style="list-style-type: none">• REGISTERED : デバイスが登録され、アクセスの要件を満たしていることを示します。• PROMISCUOUS : デバイスのプロビジョニングがそのケーブル モデムに割り当てられているポリシーに基づいていることを示します。• DEFAULT : デバイスがデバイス タイプのデフォルトのアクセス権でプロビジョニングされることを示します。• OTHER : デフォルトで使用されていない拡張機能がプライム ケーブル プロビジョニングに組み込まれており、カスタム拡張機能により提供されています。
選択されたサービス クラス	<p>デバイスの設定を生成するために使用されるサービス クラスの名前を特定します。これはアクティブ リンクであり、クリックすると、適切な [Modify Class of Service] ページが表示されます。</p>
選択した DHCP 条件	<p>デバイスの設定を生成するために使用される DHCP 条件の名前を特定します。これはアクティブ リンクであり、クリックすると、適切な [Modify DHCP Criteria] ページが表示されます。</p>
選択の説明	<p>サービス レベル選択拡張機能がデバイスに付与したアクセス権を選択した理由の説明を提供します。たとえば、必要なプロビジョニング グループで起動しなかったため、デバイスにデフォルトのアクセス権が付与されたなどです。</p>

フィールドまたはボタン	説明
選択した理由	<p>サービス レベル選択拡張機能が列挙子コードとしてデバイスに付与したアクセス権を選択した理由を特定します。次の値が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NOT_BEHIND_REQUIRED_DEVICE • NOT_IN_REQUIRED_PROV_GROUP • NOT_REGISTERED • OTHER • PROMISCUOUS_ACCESS_ENABLED • REGISTERED • RELAY_NOT_IN_REQUIRED_PROV_GROUP • RELAY_NOT_REGISTERED <p>これらのほとんどは、デフォルトのアクセスを許可されているの結果として、登録または混合モードのアクセスを許可するための要件の違反を示しています。</p>
関連するグループ名 (グループ タイプ)	<p>このデバイスに関連するグループを示します。これはアクティブ リンクであり、クリックすると、適切な [Modify Group] ページが表示されます。 グループの管理を参照してください。</p>
DHCPv4 情報 (注) このセクションは、デバイスが DHCPv4 データを検出しない限り表示されません。	
DHCP 通知ディクショナリ	<p>設定の生成を要求するときに、Cisco Prime Network Registrar 拡張機能が RDU に送信した追加の情報を特定します。これは、内部プライム ケーブルプロビジョニングのみで使用します。</p>
DHCP 要求ディクショナリ	<p>構成の生成を要求するときに、Network Registrar 拡張機能から RDU に送信された DHCP 検出または DHCP 要求パケットの詳細を特定します。</p>
DHCP 応答ディクショナリ	<p>このフィールドは、内部プライム ケーブルプロビジョニングでのみ使用します。これは常に空にする必要があります。</p>

フィールドまたはボタン	説明
DHCP 環境ディクショナリ	このフィールドは、内部プライムケーブルプロビジョニングでのみ使用します。これは常に空にする必要があります。
リース v4 情報 (注) このセクションは、デバイスがリース v4 データを検出しない限り表示されません。	
IP アドレス	デバイスの IPv4 アドレスを識別します。
DHCP リース プロパティ	IPv4 更新とともに、Network Registrar が RDU に送信するリース プロパティを特定します。
DHCPv6 情報 (注) このセクションは、デバイスが DHCPv6 データを検出しない限り表示されません。	
DHCPv6 通知ディクショナリ	設定の生成を要求する場合、Cisco Prime Network Registrar 拡張機能が RDU に送信された追加の情報を特定します。これは、内部プライムケーブルプロビジョニングのみで使用します。
DHCPv6 要求ディクショナリ	構成の生成を要求するときに、Network Registrar 拡張機能から RDU に送信された DHCP 検出または DHCP 要求パケットの詳細を特定します。
DHCPv6 リレー要求ディクショナリ	設定の生成を要求するときに、Network Registrar 拡張機能から RDU に送信された DHCP パケットの詳細を特定します。ただし、このデータは CMTS から導出され、CMTS および CMTS を使用する DOCSIS バージョン情報が含まれます。
DHCPv6 応答ディクショナリ	このフィールドは、内部プライムケーブルプロビジョニングでのみ使用します。これは常に空にする必要があります。
DHCPv6 環境ディクショナリ	このフィールドは、内部プライムケーブルプロビジョニングでのみ使用します。これは常に空にする必要があります。ただし Network Registrar デフォルト ([Configuration] > [Defaults] > [NR Defaults]) ページの環境ディレクトリからの属性の値を設定する場合、値はここに表示されます。

フィールドまたはボタン	説明
リース v6 情報 (注) このセクションは、デバイスがリース v6 データを検出しない限り表示されません。	
IP アドレス	デバイスの IPv6 アドレスを識別します。
DHCPv6 リース プロパティ	IPv6 更新とともに、Network Registrar が RDU に送信するリース プロパティを特定します。
テクノロジー固有情報 (注) テクノロジー固有情報は、使用するライセンスを持つテクノロジーに関連するデータのみを特定します。	
XGCP ポート	ゲートウェイ制御プロトコルがアクティブになっているポートを特定します。
DOCSIS バージョン	現在使用中の DOCSIS バージョンを特定します。



(注) デュアル スタック モードが有効な場合にのみ、v4 および v6 データの両方（例：DHCPv4、DHCPv6、リース v4、Lease v6）が表示されます。

デバイスの管理

[Devices] メニューでは、RDU データベースにデバイスを追加し、事前にプロビジョニングしたデータを更新することができます。デバイス管理に含まれるもの：

- RDU デバイス レコードの追加、削除、変更
- 設定の再生成
- プロビジョニング グループ、サービス クラス、およびグループなどの管理オブジェクトにデバイスを関連付けます。



(注) コンピュータに1個のモデムから別のモデムにローミングを制限するオプションがある場合、モデムは交換され、個モデムのコンピュータの MAC アドレスも変更する必要があります。

このセクションでは、新規または既存のデバイスでさまざまなデバイスの管理機能を実行する方法について説明します。複数の情報フィールドは、すべてのデバイスの管理ページで一貫して表示されます。これらのフィールドには次が含まれます。

- **デバイス タイプ** : デバイスを追加するとき、プライム ケーブル プロビジョニング内で作成可能なデバイス タイプを特定するドロップダウン リストです。使用可能な選択は、画面に表示されるとおりです。

- CableHomeWanData
- CableHomeWanMan
- コンピュータ
- DOCSISModem
- PacketCableMTA
- eRouter
- STB



(注) デバイスを変更すると、デバイス タイプを編集または変更できません。

- **MAC アドレス** : そのデバイスの MAC アドレスを特定します。

このフィールドに追加されているデバイスの MAC アドレスを入力します。たとえば、次のようにアドレスを入力して、MAC アドレス「1,6, aa:bb:cc:dd:ee:ff」を持つデバイスを検索できます。

- 1,6,aa:bb:cc:dd:ee:ff or 1,6,aa:bb:cc:*
- aa:bb:cc:dd:ee:ff または aa:bb:cc: *
- aabb.ccdd.eeff または aabb.cc*

検索機能を強化するためにワイルドカード文字 (*) を使用できます。デバイスの MAC アドレスを入力するときに、カンマ (,) 、コロン (:) 、ワイルドカード (*) を適切に入力していることを確認します。

- **DUID** : デバイスの DUID を特定します。

このフィールドに追加されているデバイスの DUID を入力します。これを行うときは、コロン (:) を適切に入力したことを確認します。たとえば、00:03:00:01:02:03:04:05:06:a0。

- **Host Name** : デバイスのホストを特定します。たとえば、node.example.com の FQDN からのノードはホスト名です。
- **Domain name** : ホストが存在する中でドメイン名を指定します。たとえば、node.example.com の FQDN からの example.com ドメイン名です。
- **Owner Identifier** : ホスト名以外の理由でデバイスを識別します。これは、ユーザー ID またはアカウント番号です。例 : 10000000000000000000。このフィールドは空欄のままにできます。

- **Registered Class of Service** : デバイスがプロビジョニングされるサービス クラスを指定します。例 : デフォルトのオプションまたは定義されたサービス クラス。
- **Registered DHCP Criteria** : デバイスがプロビジョニングされる DHCP 条件を指します。例 : デフォルトのオプションまたは定義された DHCP 基準。

デバイス記録の追加

デバイスの記録を追加するには :

ステップ 1 [Manage Devices] ページで、**[Add]** をクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン リストで選択可能なオプションからデバイス タイプを選択します。

ステップ 3 ページのその他のフィールドに、MAC アドレス、DUID、ホスト名などの詳細を入力します。

ステップ 4 サービス クラスとデバイスの登録されている DHCP 条件を選択します。

(注) Admin UI から追加したデバイスのステータスは、サービス クラスと DHCP の条件を割り当てた後でもプロビジョニングされていない状態のままになります。

ステップ 5 以前にデバイスに指定した値に加えて、既存のプロパティ名/値のペアにオプションで新しい値を追加できます。

- [プロパティ名] : 内蔵デバイス プロパティのカスタム名を識別します。
- [プロパティ値] : プロパティの値を識別します。

ステップ 6 [Submit] をクリックします。`

デバイスの削除

デバイス記録の削除は、慎重に行う必要がありますがプロセスはシンプルです。削除を元に戻すには、以前にバックアップしたデータベースを復元するか、デバイスを再度追加する必要があります。バックアップしたデータベースの復元が必要になった場合は、[データベースの復元](#)を参照してください。

デバイス記録を削除するには、削除するデバイスを検索し、**[Delete]** をクリックします。

デバイス設定の再生成

[Regenerate] ボタンまたは API 操作は、デバイスのプロビジョニング グループで DPE に送信されるデバイスの設定の即時の再生成を強制します。

通常、設定の再生成プロセスは、デバイス、クラスのサービス、またはその他に影響を与えず次の変更を自動的にトリガする変更です。ただし、クラスのサービスへの変更後、システムがすべてのデバイスの設定を再生成するには時間がかかります。特定のデバイス設定の再生成を迅速に行うために、**[Regenerate]** ボタンを使用することができます。このオプションは、予防的なトラブルシューティング中に便利です。

デバイスの設定を再生成するには：

-
- ステップ 1 [Manage Devices] ページで、設定を再生成するデバイスを探します。このために検索タイプのいずれかを使用できます。
 - ステップ 2 デバイスの左側にあるチェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 3 [Regenerate] をクリックします。
RDU が特定のデバイスの設定を再生成します。
-

デバイスの関連付けおよび関連付け解除

関連するデバイスの概念は、特定のサービス クラスまたは特定の DHCP 基準に関連するデバイスと同じく、サービス クラスまたは DHCP 条件に似ています。大きな違いは、サービス クラスと DHCP 条件は事前定義されたグループとしてみなされ、定義する任意のグループにデバイスをグループ化するためグループを使用することです。

このコンテキストでは、関連付け機能によって MAC アドレスまたは DUID を使用して、デバイスを特定のグループに関連付けます。これは、特定のグループタイプに関連付けられます。

デバイスを特定のグループに関連付けることで、デバイスが特定のグループに関連付けられていることを示す情報が、データベースに保存されます。デバイスを事前に定義された **system-diagnostics (system)** グループに関連付ける場合、潜在的な問題のトラブルシューティングのために情報を使用できます。

デバイスをグループに関連付けします

管理者ユーザー インターフェイスから、一度に 1 個のデバイスのみ関連付けおよび関連付け解除できます。

デバイスを関連付けるには：

-
- ステップ 1 [Manage Devices] ページから、グループに関連するデバイスを検索します。検索タイプのいずれかを使用できます。
 - ステップ 2 デバイスの左側にあるチェック ボックスをオンにします。
 - ステップ 3 [Relate] をクリックします。[Relate Device to Group] ページが表示されます。
 - ステップ 4 ドロップダウンリストからグループタイプを選択し、定義されているグループのリストからグループを選択します。
(注) [Groups] リストから複数のグループを選択するには、[Control] または [Shift] を押します。
 - ステップ 5 [Submit] をクリックします。

Unrelating a Device from a Group

デバイスが指定したグループに関連しているか確認するには、デバイスに対応する [View Details] アイコンをクリックします。表示されている [Device Details] ページで、関連するグループ名（グループタイプ）に対するステータスを確認します。

Unrelating a Device from a Group

グループからデバイスを関連付け解除するには：

ステップ 1 [Manage Devices] ページで、グループから関連付けを解除するデバイスを検索します。

ステップ 2 デバイス ID に対応するチェック ボックスをチェックし、[Unrelate] ボタンをクリックします。

ステップ 3 定義されたグループのリストから、デバイスの関連付けを解除するグループを選択します。

（注） [Groups] リストから複数のグループを選択するには、[Control] または [Shift] を押します。

ステップ 4 [Submit] をクリックします。`[Manage Devices] ページが表示されます。

グループ内のデバイスの検索

特定のグループに属しているデバイスを検索するには：

ステップ 1 [Manage Devices] ページから、[Search Type] のドロップダウン リストから [Group Search] オプションを選択します。

ステップ 2 [Group Name]（Group Type）ドロップダウン リストから、デバイスが関連付けられているグループの名前を選択します。

ステップ 3 [検索（Search）] をクリックします。

グループに関係するデバイスが表示されます。

デバイスのリセット

リセット ボタンで、選択したデバイスを再起動することができます。

デバイスをリセットするには：

ステップ 1 [Manage Devices] ページから再起動するデバイスを検索します。検索タイプのいずれかを使用できます。

ステップ 2 デバイスに対応するチェック ボックスをオンにします。

ステップ 3 **Reset** をクリックします。

デバイスが再起動します。